

会員数(54・11月現在)

逗子地区 143名

葉山地区 208名

大船地区 61名

合計 412名

# 吟道月報

社団法人 日本詩吟学院 島風会 認可  
神奈川 碩心会 発行

54年11月

第88号

発行 者  
編 集

中村 愛風  
秋元 梁風

## 私の好きな詩と山

長柄支部 根岸治風

仙客来り遊ぶ雲外の巖：時吟を  
学ぶ人なら誰でも知っている石川  
丈山作の富士山：私は山手の育ち  
で朝夕富士山をみる事ができな  
かったが、少年の頃オニ葉山小學校  
に通い、その学校の近くに遠縁の  
老夫婦がいて子供がなかったため  
私が行くと大変歓迎してくれた。  
私は学校の帰りに度々寄り、道具  
を預けては一目散に海辺へ駆けお  
りたものでした。眼前にひらけた  
海の彼方にくっきりと浮ぶ富士山  
をみるのが大好きでした。  
その後何十年富士山を落ち付い  
て眺める事もなく過ぎてしまった  
今、この稿をものするためには私は  
葉山公園の芝生の上に立った、数

多くの岩礁の向うに広がる相模灘、  
一際青い水平線、紫紺色に重なる箱  
根伊豆の連山、その上に霞の中にう  
っすらと浮き出た富士山の美しい姿  
は昔と少しも変わらない。私は少年時  
代の富士山を思い起して懐しさをい  
っぱいでした。人影も疎らな浜辺で  
富士山を眺めながら心行くまで何回  
となく富士山の詩を吟じて帰路につ  
きました。  
木村岳風先生 大船  
展墓吟行会を終って 森田曉風  
一年前から企画されていた木村岳  
風先生の墓参吟行会が十月六、七日  
に行われた。今年は秋の長雨がつづ  
いていたが、天も私達の心情を察し  
てか、オ一日は大した大降りもなく

バスは予定通り進み昼食近くなる頃からバスの中は吟声でわき返った。

予定より少しおくれで地藏寺に到着、住職の話を通き見晴台へ。山上より諏訪湖を望む素晴らしい眺めでした。墓前にて辞世の句「我が墓は」と「碩心会の詩」の大合吟、終つて礼拝、御冥福を祈り名残りを惜しみつつ下山し記念館に向いました。先生の生家を改造してお作りになつたとか。先生の詩々書、色紙等有意本品々を拝覧し、竹の内先生の御説明を拝聴しました。

宿泊のホテルは湖の近くで夜は対岸の灯が、湖に影を落とすきれいな夜景でした。竹の内先生他三名の先生を交え宴会に入り、各教場の合吟、独吟、又諸先生の吟を聞かせていただきました和かな一夜でした。

明けて七日は朝からひどい雨で残念ながら予定を変更、諏訪大社のみを参拝一路帰路についた。バスの中は雨など何のその詩吟に民謡に歌謡曲にとつづいた。雨のため見学する

所でもきず少し淋しかったが、事故もなく一同元気に吟行会が終つた事を心から感謝してペンを書きます。本当に楽しい旅行でした。

丘山風先生

建設支部

辰墓吟行会に参加して

鈴木 公山

待望の丘山風先生辰墓吟行会が十月六、七日に実施され私もその一員として参加させていただきました。祖先の墓をお詣りするのには私達現存する者の大きな務めの一つです。是非一度と思いつら五月末から具合が悪く教場も休んでおりました。幸い九月末頃からだんだん回復し、一寸無理とは思いましたが温かき吟友の慈母も及ばぬ友情に支えられて無事墓参らせていただきました事を皆様に厚く御礼申し上げます。

其の日はますますの天候で、二号車が逗子にて合流し時半に出発。小田原、河口湖、甲府と車は進みいよいよ地藏寺に到着。先ず地藏寺住職読経の中を代表の方が焼香のあと目的に先生の墓へと歩を進めました。

参道は昇り急坂で墓参の死は右に曲り左に昇り眼下に諏訪湖を見下す地藏寺山に到着。供花、線香の立ちのぼる中を願心念の詩と岳風先生の辞世の句、我が墓は地藏寺山の見晴台風吹くたびに松の吟声」と詠ずれば眠れる大聖人大地の中何処ともなくよくきてくれた。ヨシシ、シッカリマレヨとばかりに諏訪湖よ吹きあげる風に恰も松の吟声が聞えてくるかの感を覚えた。

墓に別れをつけ、約十分位で先生の生家で今は記念館となった所を訪れ数々の遺品等を拝見、先生の達筆をみ、あり日の先生の肌は接したような心境でした。中でも一番身近に感じた事は先生の同級生である竹の内先生が八十文というのに、今尚健在で思い出話をして下さり、若い者願負けの音声の持主でいられたのに敬服いたしました。おつとつと先生のお話を聞ききたかったのですが時間が無いのが残念でした。夜はホテルで一日の疲れをいやす後宴会が催され楽しい一日は終った。

翌七日は朝からひどい雨で諏訪大社のみ参拝。車中はもっぱら吟や隠し芸で楽しく、又先生方々各敷場の方々の日頃鍛えた吟を心ゆくまで聞かせていた。なき有意義な墓参吟行会でした。

習八日大野孤山先生の墓(逗子延命寺)にこの事を報告墓参すれば今秋二十三回忌法要営みレ塔婆あり先生も喜ばいられるかに思われるひとときでした。

◎新支部誕生

支部名 葉月支部  
指導者 広瀬翔風  
支部長 杉山初代

(1人 △△)

(葉月支部) 杉山 初代 逗子市逗子四一三一九

④ 〇四六八一七三〇〇七一

(〇〇〇〇) 山上八重子 〇四一三一一

④ 〇四六八一七三〇二九一二

(〇〇〇〇) 谷上 重子 〇三二二二三

(〇〇〇〇) 信田ミチエ 〇三二二二三

① 〇四六八一七三〇五七〇四

(葉月支部)

齊藤 和子 逗子市逗子四一十二

⑤ 〇四六八一七三一一二二

( ) 菊地 光子

〇四六八一七一七二七五〇

( ) 青木ケサノ

〇四六八一七一三二五〇

( ) 金子 訓子

〇四六八一七一三三三〇

( ) 葉山 敏子

〇四六八一七一三三四〇

( ) 矢部美代子

〇四六八一七一三三三〇

( ) 品川 行山

〇四六八一七一三三三〇

( ) 早川郁三郎

〇四六八一七一三三三〇

( ) 大場 芳江

〇四六八一七一三三三〇

( ) 高岡 志郎

〇四六八一七一三三三〇

(桜丘支部) 再

品川 行山 沼間三十八十七

〇四六八一七一三三三〇

( ) 早川郁三郎

〇四六八一七一三三三〇

( ) 大場 芳江

〇四六八一七一三三三〇

( ) 高岡 志郎

〇四六八一七一三三三〇

(桜山支部)

鴨原 千恵 逗子市桜山三一十二

⑤ 〇四六八一七一三九四六

(大船尾支部) 再 田上 洲山

〇四六八一七一三九四六

(下谷支部) 多田 ヒデ

〇四五一一八三一一〇六三一

(堀内支部) 再 松岡 翠山

〇四六八一三六四四〇二

( ) 西岡 太郎

〇四六八一七五一一一八

( ) 西岡 節子

〇四六八一七五一一一八

( ) 若林 晴子

〇四六八一七五一一一八

( ) 若林 巴子

〇三七二〇一五〇二一

( ) 西岡 ようこ

〇四六八一七一〇四五八

( ) 西岡 次

〇四六八一七一〇四五八

( ) 鈴木 康文

〇四六八一五三一一〇九六七

( ) 若林 晴子

〇三七二〇一五〇二一

( ) 若林 巴子

〇三七二〇一五〇二一

( ) 西岡 ようこ

〇四六八一七一〇四五八

( ) 西岡 次

〇四六八一七一〇四五八

( ) 鈴木 康文

〇四六八一五三一一〇九六七

( ) 若林 晴子

〇三七二〇一五〇二一

( ) 若林 巴子

〇三七二〇一五〇二一

( ) 西岡 ようこ

〇四六八一七一〇四五八

( ) 西岡 次

〇四六八一七一〇四五八

( ) 鈴木 康文

〇四六八一五三一一〇九六七

( ) 若林 晴子

〇三七二〇一五〇二一

( ) 若林 巴子

〇三七二〇一五〇二一

( ) 西岡 ようこ

〇四六八一七一〇四五八